

石田尚志 ISHIDA Takashi

画家/映像作家。

1972年東京都生まれ。1990年より本格的な絵画制作、1992年頃より映像制作を始める。1999年「部屋／形態」が「イメージフォーラム・フェスティバル 1999」で特選を受賞。以後、国内外の展覧会や国際映画祭で発表を重ねる。線を一コマずつ描いては撮影するドローイングアニメーションという手法を用いて、空間のなかに増殖する線や移動する点といった運動性を介入させ、空間の質をさまざまに変容させるインスタレーションを発表。また、オープンアトリエ形式の公開制作や、自らの描く行為を音や映像と組み合わせたパフォーマンス、他分野の表現者とのコラボレーションなど、ジャンルを横断した活動も展開している。多摩美術大学准教授。

2015年に横浜美術館で大規模な個展「石田尚志 渦まく光」(沖縄県立博物館・美術館に巡回)を開催。現在、横浜のBankART Studio NYK 2Fで開催中の「日産アートアワード 2015」(11月14日-12月27日)にて新作を展示中。

〔技術〕 山本圭太 Keita YAMAMOTO

照明家/空間演出家。1980年生まれ。「光」を素材として扱う空間演出を行い、近年は企画演出も手掛ける。2015年、東京都現代美術館「山口小夜子 未来を着る人」展の生西康典×掛川康典《夢より少し長い闇》の照明空間演出、国立劇場小劇場の「第七十六回 珠實会 五條珠實 Recital」映像空間演出などを担当。

石田尚志 映像インスタレーション 二夜展

Takashi Ishida Two Nights Solo

作品・構成:石田尚志

技術:山本圭太

協力:横浜美術館、タカ・イシイギャラリー、平 曜、鈴木余位、山本 渉

日時:2015年11月28日(土)、29日(日) 17:00-18:00

場所:神奈川県立近代美術館 鎌倉

主催:神奈川県立近代美術館

〒248-0005 鎌倉市雪ノ下 2-1-53 Tel. 0467-22-5000

<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

石田尚志 映像インスタレーション
二夜展

TAKASHI ISHIDA
TWO NIGHTS SOLO

神奈川県立近代美術館 鎌倉

石田尚志が、美術館という空間で最初にインスタレーションとして映像作品を展示したのは、2003年の世田谷美術館だった。「展示室」ではなく、1階の企画展示室を出て、公園の緑に囲まれた明るいレストランに向かう、暗く長い廊下。打ち放しコンクリートの、普段から薄暗い印象の背の高いトンネルのような空間を貫くように、石田は長いロール紙のドローイングを床上の展示台に展示し、トンネルを光の方へと抜ける直前のやや見上げる位置に、スクリーンを設置し、疾走する線の映像を映した。

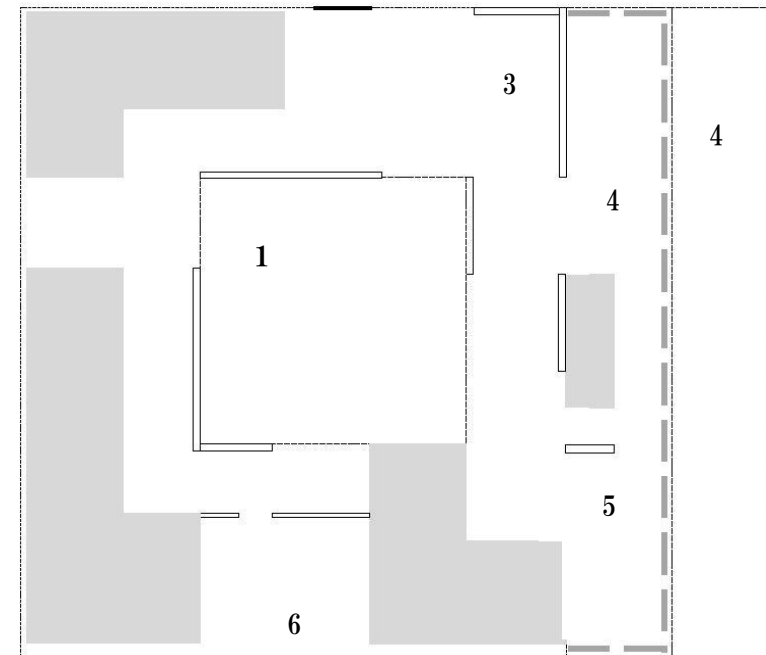
映像作品を美術館で「展示」することは、もはや当たり前のようにありながら、音や光、動線の問題や他の作品との関係において、根本的な体験の差異を喚起する。劇場や映画館と異なり、公共空間としての美術館での「鑑賞」はつねに歩行と停止という移動をともない、作品と自身を取り巻くすべての存在に(等分でないにせよ)感性をひらくことを求める。どれほど密閉的な空間を用意しようと、作品は映像だけで完結するものではなく、それが投影される空間の意味をともなって作品となるとともに、一人ひとりの身体的・時間的な経験をも作品の一部とする。

旧館中庭の壁にかつて映写幕が設置されていたことから、現代作家に新作を含む上映を依頼した今回の企画において、石田は今夏の一日、鎌倉館の中庭と彫刻室の床に噴霧器の水でドローイングを行い、小さな新作を作った。そして、平面・立面ともにほぼ正方形の中庭と構造材、水面と反映しあう新館のガラス壁、日が落ちれば闇に包まれるピロティなどを作品の構成要素として受け入れ、環境に滲入していく複数の映像インスタレーションを構成した。

それらの中を歩き、立ち止まるわたしたちは、初冬の夕闇と建築が石田尚志と作る、二夜限りの個展に立ち会おう。

PLAN AND WORKS (28日、29日 共通)

2



- | | |
|-------------|------------|
| 1. 渦まく光 | 2015 |
| 2. 浜の絵 2(仮) | 2015 |
| 3. フーガの技法 | 2001 |
| 4. 絵馬・絵巻 | 2003 |
| 5. 水の絵 | 2015 |
| 6. 色の波の絵巻 | 2010 [外階段] |

・内容は変更となる場合があります。 ・動画の撮影はご遠慮ください。